

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社チャイルド・ピース
施設名	小鳩ナーサリースクール浜離宮
施設所在地	港区浜松町1-3-1 浜離宮ザタワー203

1. 活動のテーマ

<テーマ>

やさい・くだもの (芋ほり1・2歳児)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

「やさい・くだもの」は、給食や日々の生活の中で子どもにとって身近で親しみやすく、関心を持ちやすいテーマである。都心に位置する本園では、栽培などの実体験が少ないからこそ、五感を使った体験を通して感性を育むことを大切にしている。また、少人数かつ異年齢保育という環境を生かし、年上の子どもと年下の子どもが互に関わりながら共に活動することで、自然なつながりが生まれ、言葉の育ちや気づき、発見の共有へとつながっていく。自分で選び、育て、食べるという一連の体験は、主体性の育ちにもつながる。こうした探求心を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

6/27苗植え→11/11収穫

11/21さつまいも掘り(園外)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

テラスにベジトラグを設置し、砂場も用意した。スモックを着用して砂遊びや土いじりを行い、土に触れる経験ができるよう環境を整えた。種や苗を身近に置き、子どもが手に取ったり見たりしながら「何だろう」と関心をもてるようにした。また、苗や収穫した野菜を保育者と一緒に見たり触れたりできるようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・保育者と一緒にさつまいもの苗を植える。
- ・水やりをしながら苗の様子を見たり触れたりする。
- ・つるや葉、土の感触に触れながら関心を示す。
- ・葉や花を見たり、葉にとまっている虫を見つけて指差するなど、身近な自然に気づく様子が見られた。
- ・収穫したさつまいもを手に取り、匂いを感じたり触れたりする。
- ・さつまいもを洗う様子を見たり、保育者と一緒に触れたりする。
- ・おやつでさつまいもを食べ、味を楽しむ。
- ・芋ほり体験に参加し、土の中から出てくるさつまいもに触れる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子ども用のジョウロを使い、保育者や他の子と一緒に水やりを楽しんでいた。育っている野菜を見て指をさしたり、「なに？」と保育者に尋ねたりする姿が見られた。また、実った野菜に触れて感触を確かめる様子もあった。園内で行った芋ほりでは、収穫したさつまいものつるを引っ張りながら歩いたり、土の中から出てきたさつまいもを手に取り関心を示していた。保育者は子どもの気づきに寄り添いながら、「おいもだね」「大きいね」など言葉添え、子どもと一緒に気づきを共有した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは水やりをしたり収穫に触れたりする中で、さつまいもに関心を示していた。園内で行った芋ほりの経験が、その後の芋ほり体験にもつながり、保育者の言葉かけに応じて「大きいね」などの声が聞かれる場面もあった。また、芋ほりの前後に制作活動を行うことで、体験を思い出しながら楽しむ様子も見られた。